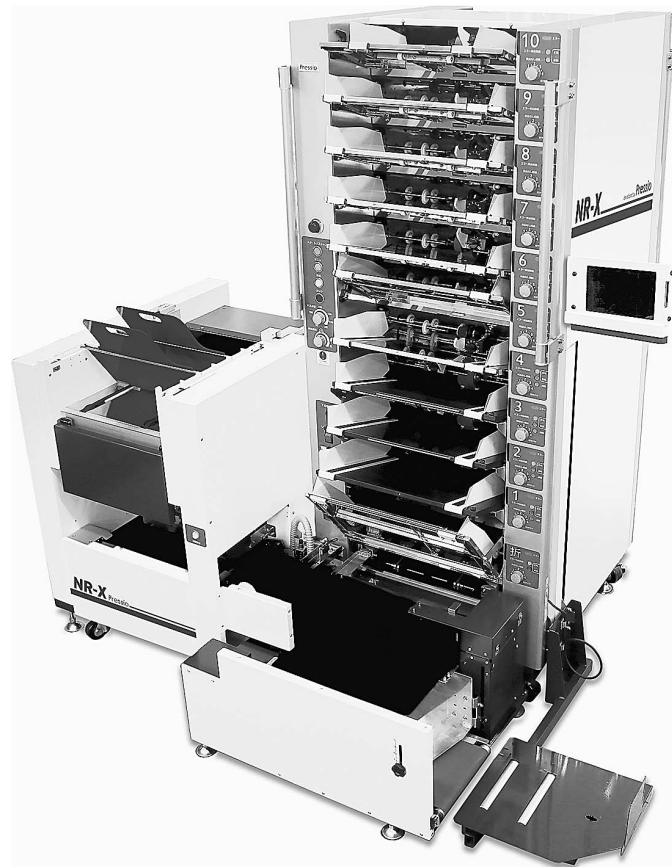


販売店の「働き方改革」を強力に後押し

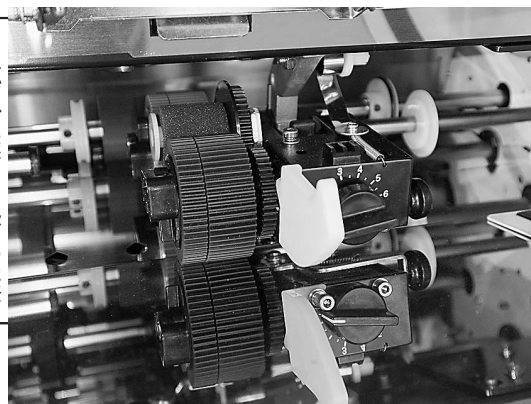
株式会社プレッショ（東京都港区、大谷貴志社長）は、業界初のインサーター搭載丁合機「TZS・MRI」の後継機として、より安定性と操作性を向上させた「NR・X」を8月（予定）に発売する。価格は旧モデルのTZS・MRIより低く抑えて提供する。

TZS・MRIはインサーター、丁合機、リフターが一体となった1台3役の複合型丁合機として、多数の販売店で活躍。豊約1・5畳分のスペースに設置できるコンパクトサイズと、1人で操作できる利便性により高い評価を得ている。

NR・Xは、TZS・MRIの長所を残しつつ、安定性と操作性を飛躍的に向上させた上に、サイズダウンしたのが特長。6月12日に神戸で開かれる新聞販売フォーラムで実機を初披露する予定で、関係者から注目を浴びている。NR・Xの開発にも当たった井上知哉営業本部長に、同機の特長や今後の展開などについてうかがった。



▶NR-X（21段機）



旧モデルに採用されていた表面がギザギザ状の歯切りゴム

旧モデルに採用されていた表面がギザギザ状の歯切りゴム

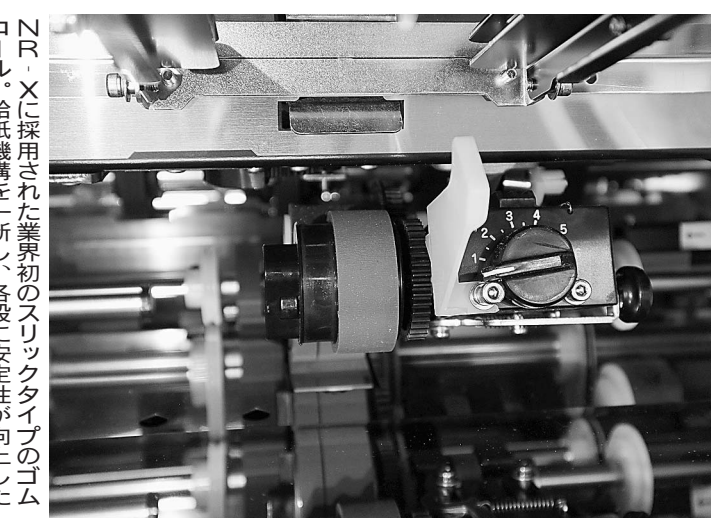
その課題をクリアするために、開発陣の奮闘は大変なものでした。一方で実際に使うと想定外のことばかり起りますからね。

その結果、格段の安定性向上に成功しました。旧モデルのユーザーによる「さらに安定性を高めたい」という要望にも応えられたと自負しています。NR・Xは旧モデルユーザーとともに開発したマシンと言えます。

安定性向上の要因の一つに、丁合機のチャラシを送るゴムローラーをスリックゴム（表面が平なリング状のゴム）にして、給紙機構を一新し

た。ユーザーにとって、使い勝手がさらによくなったのは、大きな利点です。スタッフのミスも減り、作業時間も短縮できます。

それが労働環境の改善や労務難の解消につながり、結果的に人件費の削減になります。NR・Xは旧モデル以上に、販売店の労働環境改善に役立つと思います。



NR・Xに採用された業界初のスリックタイプのゴムローラー。給紙機構を一新し、各段に安定性が向上した

ンになります。

ます。

性能がアップしても 価格はダウン

導入ハードルを下げるために

——価格はできるだけ抑えたと聞きました。

現時点で価格は公表できませんが、旧モデルより低い価格を設定しました。

旧モデルは、丁合機とインサーターを別で買うより少し安いというレベルでした。NR・Xは丁合機の価格に少しプラスすれば、インサーターも買えるというレベルです。安定性と操作性はアップしましたが、価格はダウンしました。

新聞販売フォーラムで デモンストレーション

どんな店にもマッチする
汎用性の高いマシンを目指す

——NR・Xの今後の展開は、売、合売などお店の形態に関わらず、どんな販売店のニーズにも応えて、進化を続けます。そして専ら汎用性の高いマシンを目指す

■連絡先

0120-37-2040

※お客様の発信エリアを認識して、担当エリアの営業所につながります。

■プレッショHP

<https://www.pressio.co.jp/>

■全国新聞販売フォーラム

2024 神戸大会

▽開催日 6月12日（水）

▽時間 午前11時～午後3時半

▽会場 神戸ポートピアホテル
（神戸市中央区港島中町6-10-1）

スペックアップしたインサーター搭載丁合機

「NR-X」新聞フォーラムで実機初披露



井上営業本部長

限られた人手、 スペースに対応 8ページでも安定した 中入れ作業が可能

——旧モデルのTZS・MRI（23段機・高さ2112×横幅1941×奥行1440㎝）もかなりコンパクトでしたが、それより小型化したのは驚きました。

開発コンセプトは、一貫して省スペース化と省力化です。つまり人手不足への対応など、新聞販売店の実状に合ったマシンをつくることです。作業スペースに恵まれた販売店は少ないので、さらなる小型化は必須と考え、23段機で高さ1958㎜、横幅1898㎜、奥行き1448㎜に改良しました。

背の低いスタッフは台の上に乗って、つま先立ちの不安定な姿勢のまま、作業することもあると思います。NR・Xは高さを16㎝低くしたので、背の低い人でも作業はしやすくなると思います。

また、限られた作業スペースを有効に使うこともできますし、搬入や移動の負担も軽くなります。そして1人で操作できるので、人手不足の負担も軽減できます。

——最近では新聞も薄くなる傾向にあります。NR・Xは薄い新聞にも対応しているのですか。薄い新聞にも対応しています。8ページの新聞でも、きちんと中入れできる安定性を確保しました。薄くなる中入れは不安定になるものですが、価格はダウンしました。

性能がアップしても 価格はダウン

——メンテナンス体制は変わるのでしょうか。

旧モデルと同じです。メンテナンス（専用保守サービス付）に加入していただくことで、メンテナンスに必要な消耗品は全て無償で提供します。また、エリア担当者による機械点検もあるので安心です。

プレッショのブースに来ていただき、NR・Xを体験してほしいと思います。作業場を広く使いたいなど、労働環境の改善、そして人手不足の軽減と経費削減を実現したいという所長さんは、ぜひ来てください。NR・Xがお役に立つことも多いと思います。

スタッフ一同、心よりお待ちしております。